

## 特記仕様書(2/2)

### 大気質調査

1. 調査箇所：4箇所(TA-1～TA-2)
2. 調査項目：降下ばいじん、浮遊粒子状物質(SPM)、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)及び気象観測
3. 調査期間：令和2年4月1日～12月28日
4. 調査頻度

浮遊粒子状物質(SPM)、二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)及び気象観測については1ヶ月間の連続観測とし、5、8、11月に実施する。また、降下ばいじんについては捕集期間を約30日に設定し、9ヶ月(4～12月)の連続観測を実施する。調査項目及び調査方法一覧表を下表1、調査数量表を下表2に示す。

なお、調査箇所は事前に現地踏査を実施する。また、調査準備を整えるとともに、観測機器は点検調整を実施する。

表1 調査項目及び調査方法一覧表

調査項目	調査方法	調査地点	調査時期	備考
浮遊粒子状物質(SPM)	JIS B 7954 大気中の浮遊粒子状物質自動計測器	1地点(TA-1)	5月・8月・11月	1ヶ月連続観測
二酸化窒素(NO <sub>2</sub> )	JIS B 7953 大気中の窒素酸化物自動計測器	1地点(TA-1)		
気象観測	「地上気象観測指針」(気象庁)	1地点(TA-1)		
降下ばいじん	「衛生試験法・注解(2005)」4.4.1.2 ダストジャー法	4地点 (TA-1, TA-2, TA-3, TA-4)	R2.4～R2.12	1回/月回収

注)気象観測：天気、風向、風速、気温、湿度、雨量

表2 調査数量表

項目		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
大気質調査	降下ばいじん(1ヶ月連続観測)	地点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	36	
	連続観測 (1ヶ月連続観測)	浮遊粒子状物質	地点	-	1	-	-	1	-	-	1	-	3
		二酸化窒素	地点	-	1	-	-	1	-	-	1	-	3
		気温・湿度・風向 風速等	地点	-	1	-	-	1	-	-	1	-	3

## 5. 調査位置

浮遊粒子状物質 (SPM)、二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 及び気象観測は、図 1 に示す TA-1 の 1 箇所、降下ばいじんは、TA-1~TA-4 の 4 箇所において実施する。



図 1 大気質調査位置